

【家庭教育支援チーム】

| | |
|----------------------------|---|
| チーム名 (呼称) | 大阪府箕面(みのお)市家庭教育支援チーム (呼称:親まなび♥でこぼこひよろりん) |
| 活動開始年度 | 平成17年度 |
| 活動拠点 | 箕面市 萱野人権文化センター らいとぴあ21内「ひゅーまん」 |
| 活動範囲 | 大阪府・兵庫県下 北摂地域を中心に活動 |
| 活動財源 | <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (プログラムを実施する場合は依頼される相手方の予算に応じて謝礼を受領) |
| 組織体制 | 5 人 子育てサポーター 5人、教員 1人、DV 被害者支援 NPO 支援員2人、元 ガールスカウト指導員 1 人、SSW(社会福祉士)1人 |
| 具体的な活動内容 | 親まなびプログラムの実施 オリジナル教材の作成 定例会 |
| 活動を通して感じていること (成果、課題など) | <p>子育て中の保護者の社会的孤立、精神的なゆとりのなさ、子どもとの生活の中での戸惑い、弱音を吐けない・助けを呼べないとの思い込みなど これまでの講座を通して、当事者の声を聴いてきました。講座に参加して『悩んでいるのは自分一人ではない、ありのままの思いを話せる仲間がいる』と知ること、『自身自身への気づき、支え、成長』につながるようです。悩みを言葉にするとしんどさが発散できると実感されています。また子どもを講座時保育に預けることで親自身が自分を見つめるきっかけにもなります。</p> <p>活動に関する課題としては、子どもの成長と共に子育ての悩みの内容は変化するので幼児、学童、思春期と折に触れて受講されると有効、また受講対象者の年代別の講座の企画は実際に楽しいのですが、例えば学校の PTA 等母体となる団体の企画でない受講人数が集まりにくい。一度体験されたことのある方々は楽しんで参加して下さるだけに講座企画を提案する団体とのマッチングが難しいのが悩みです。</p> |
| 問合せ先 【公表可能な連絡先】 | (箕面市社会福祉協議会)(TEL) 072-749-1535 |